

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神医学 I (理学療法学科・作業療法学科)		必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
竹内 潤一	講師控室	kyoumu		授業終了後	
授業の目的・概要	理学療法士・作業療法士として遭遇する可能性がある精神疾患の基本的特徴を理解する。作業療法学科の学生においては、重要な精神疾患の基礎的知識を習得して精神障害作業療法を行う際の治療方法選択の根拠として活用できることを目指す。第1回から第7回は課題を与えるのでそれを期限までに提出すること。第8回から第15回は同時双方向遠隔授業を原則とする。課題については知識を覚えるだけではなく、必要な情報を教科書から見つけ、それをまとめる能力を養成することも目的とする。				
学習上の助言	教科書を徹底的に読み込むこと。教科書の内容を確実に習得すること。それが3年生以後の学習の基礎となる。				
教科書	精神医学 第4版 (標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野) / 編集: 上野武治/ 出版社: 医学書院				
参考書	現代臨床精神医学 改訂第12版/ 原著: 大熊輝雄/ 出版社: 金原出版 精神医学 (精神保健福祉士養成セミナー1 第6版) / 編集: 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会 / 出版社: へるす出版				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神医学の概論を理解でき、必要最低限な知識を習得している。			PT(3),OT(1)	
②	代表的な精神疾患・障害を理解し、その違いや、対処法、治療法を説明できる。			PT(6),OT(2)	
③	精神疾患における人権擁護の重要性を理解し、思いやりの精神を身につけている。			PT(1),OT(3)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	精神医学の概論について学ぶ	印刷教材、メールによる質問・回答	教科書 P2～6 を読み、精神医学の概要を理解する。配布資料で復習。		6
2	精神医学の歴史について学ぶ	印刷教材、メールによる質問・回答	教科書 P7～10 を読み、精神医学の歴史の概要を理解する。配布資料で復習。		6
3	精神障害の成因と分類について学ぶ	印刷教材、メールによる質問・回答	教科書 P11～15 を読む。配布資料で復習。		6
4	精神機能の障害と精神症状について学ぶ (5/14)	1 印刷教材、メールによる質問・回答	教科書 P16～25 を読む。主要な精神症状を理解する。配布資料で復習。		6
5	精神機能の障害と精神症状について学ぶ (5/21)	2 印刷教材、メールによる質問・回答	教科書 P26～P35 を読む。主要な精神症状を理解する。配布資料で復習。		6
6	精神機能の障害と精神症状について学ぶ (5/28)	3 印刷教材、メールによる質問・回答	教科書 P36～45 を読む。主要な精神症状を理解する。配布資料で復習。		6
7	精神機能の障害と精神症状のまとめ	印刷教材、メールによる質問・回答	教科書 pp2～45 を復習する。配布資料で復習。		6
8	精神障害の診断と評価について学ぶ 1	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P46～53 を読む。		4
9	精神障害の診断と評価について学ぶ 2	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P53～67 を読む。		4
10	症状性精神障害について学ぶ	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P94～99 を読む。		4
11	第8回～第10回まとめ	印刷教材、メールによる質問・回答	教科書 pp46～67、94～99 を復習する。		6
12	脳器質性精神障害について学ぶ 1 概説、認知症 1 (7/9)	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P68～81 を読む。認知症の原因と分類を理解する。		4
13	脳器質性精神障害について学ぶ 2 認知症 2、他 (7/16)	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P81～93 を読む。		4
14	精神作用物質による精神および行動の障害について学ぶ (7/23) アルコール・乱用薬物など	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P100～113 を読む。アルコール依存症について理解する。		4
15	第12回～第14回まとめ	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 pp68～93、100～113 を復習する。		4
試	定期試験				

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系/旧カリキュラム】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義の重要なポイントを理解しているかどうか確認する選択形式および穴埋め、記述形式の筆記試験を行う。				試験終了後答案を返却し、講評を掲示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎竹内 潤一</p> <p>教員の実務経験：医師として 34 年間、精神医学およびその基礎研究や臨床研究の経験。米国、カナダ、日本において心理学部、医学部や看護学校の大学院生や医学生、看護学生、日本の専門学校において理学・作業療法学科の学生などに講義やセミナーを行ってきた。</p> <p>実践的授業の内容：臨床の場で必要と思われる病気や精神的な病態や診断、診療などの考え方を教科書および実践例を通して学習する。</p> <p>その他：学生の理解度やコロナウイルス感染症の状況等により授業内容や進路を変更する可能性がある。その場合は Teams、授業中のアナウンス、メール、掲示板等で通知し、シラバスを変更する。 遠隔授業の途中で通信障害等が生じた場合は後日 Stream で授業を視聴すること。その場合は質問をメール、Teams のチャットで受け付ける。</p>							